

# 全國商業會議所聯合會號

## 京城新報

全國商業會議所聯合會に望む

注意すべき會合

(一) 注意すべき會合  
内地の各商業會議所と朝鮮の各商業會議所との聯合會を京城に開くといふ事は、朝鮮の商業界に於いては、極めて重要な事である。朝鮮の商業界は、従来内地の商業界と密接な關係を有してゐたが、近年内地の商業界は、朝鮮の商業界に對して、益々其の勢力を擴大するに至つた。このため、朝鮮の商業界は、内地の商業界と聯合して、其の利益を保護する必要がある。この聯合會は、内地の商業界と朝鮮の商業界とが、互に其の利益を保護し、互に其の利益を擴大する爲め、開くべきものである。

(二) 商業會議所の要件  
内地の各商業會議所及び朝鮮の各商業會議所は、互に其の利益を保護し、互に其の利益を擴大する爲め、開くべきものである。この聯合會は、内地の商業界と朝鮮の商業界とが、互に其の利益を保護し、互に其の利益を擴大する爲め、開くべきものである。

(三) 制限に驚かん  
内地の商業界は、朝鮮の商業界に對して、益々其の勢力を擴大するに至つた。このため、朝鮮の商業界は、内地の商業界と聯合して、其の利益を保護する必要がある。この聯合會は、内地の商業界と朝鮮の商業界とが、互に其の利益を保護し、互に其の利益を擴大する爲め、開くべきものである。

(四) 關稅の一部撤去  
内地の商業界は、朝鮮の商業界に對して、益々其の勢力を擴大するに至つた。このため、朝鮮の商業界は、内地の商業界と聯合して、其の利益を保護する必要がある。この聯合會は、内地の商業界と朝鮮の商業界とが、互に其の利益を保護し、互に其の利益を擴大する爲め、開くべきものである。

(五) 通關の例に倣へ  
内地の商業界は、朝鮮の商業界に對して、益々其の勢力を擴大するに至つた。このため、朝鮮の商業界は、内地の商業界と聯合して、其の利益を保護する必要がある。この聯合會は、内地の商業界と朝鮮の商業界とが、互に其の利益を保護し、互に其の利益を擴大する爲め、開くべきものである。

(六) 利益の保護  
内地の商業界は、朝鮮の商業界に對して、益々其の勢力を擴大するに至つた。このため、朝鮮の商業界は、内地の商業界と聯合して、其の利益を保護する必要がある。この聯合會は、内地の商業界と朝鮮の商業界とが、互に其の利益を保護し、互に其の利益を擴大する爲め、開くべきものである。

(七) 歡迎會廣告  
内地の商業界は、朝鮮の商業界に對して、益々其の勢力を擴大するに至つた。このため、朝鮮の商業界は、内地の商業界と聯合して、其の利益を保護する必要がある。この聯合會は、内地の商業界と朝鮮の商業界とが、互に其の利益を保護し、互に其の利益を擴大する爲め、開くべきものである。

### 迎 歡

- 株式會社 京城南大門外 漢城共同倉庫株式會社
- 株式會社 京城南大門通三丁目 漢城手形組合
- 株式會社 京城南大門通三丁目 十八銀行
- 株式會社 京城南大門通三丁目 第一銀行
- 株式會社 京城南大門通三丁目 百三十銀行
- 株式會社 京城南大門通三丁目 朝鮮總支店
- 株式會社 京城南大門通三丁目 漢湖農工銀行
- 株式會社 京城南大門通三丁目 朝鮮商業銀行

歡迎會廣告  
四月廿九日午後二時開會  
四月三十日午後二時開會  
五月一日午後二時開會  
五月二日午後二時開會  
五月三日午後二時開會  
五月四日午後二時開會  
五月五日午後二時開會  
五月六日午後二時開會  
五月七日午後二時開會  
五月八日午後二時開會  
五月九日午後二時開會  
五月十日午後二時開會  
五月十一日午後二時開會  
五月十二日午後二時開會  
五月十三日午後二時開會  
五月十四日午後二時開會  
五月十五日午後二時開會  
五月十六日午後二時開會  
五月十七日午後二時開會  
五月十八日午後二時開會  
五月十九日午後二時開會  
五月二十日午後二時開會  
五月二十一日午後二時開會  
五月二十二日午後二時開會  
五月二十三日午後二時開會  
五月二十四日午後二時開會  
五月二十五日午後二時開會  
五月二十六日午後二時開會  
五月二十七日午後二時開會  
五月二十八日午後二時開會  
五月二十九日午後二時開會  
五月三十日午後二時開會

朝鮮紳士錄  
總編輯 金文字入 萬國千一  
定價 前金一部 金參圓  
預約 前金一部 金參圓  
發行所 京城南大門外 漢城共同倉庫株式會社  
發行所 京城南大門通三丁目 漢城手形組合  
發行所 京城南大門通三丁目 十八銀行  
發行所 京城南大門通三丁目 第一銀行  
發行所 京城南大門通三丁目 百三十銀行  
發行所 京城南大門通三丁目 朝鮮總支店  
發行所 京城南大門通三丁目 漢湖農工銀行  
發行所 京城南大門通三丁目 朝鮮商業銀行







待合春日

京城本町  
三越吳服店

10

(番 一 百 四 話 電)

本店 南山町三丁目（電話四〇番）  
 曙町地屋樓 電話七九五番 本町三丁目（森安商店前）  
 大和町二丁目 電話九四八番 大和町二丁目 電話一六〇八番  
 南大門驛構內重箱七三番 光化門通信局橫  
 光化門東拓舍宅橫  
 總督府正門前豐盛二七七番（總督府專車用）  
 總督府營繕所前・營繕土地・取調局御用）

伊藤組主 伊藤友松

各位御得意様の御引立に預り營業日  
々々隆盛に相趣候段難有奉鳴謝候然る  
之且前通り營業所にては甚た狹隘に有  
とも相成往々危險有之候により業  
務擴張と同時に本店內有之候より業  
左の目的を以て移轉仕り候間何卒  
倍舊御立の程奉希願候

移轉廣告

本店へは人力車一百輛を備附電話の御注文次第  
に可鳴迅速を以て御用辨可仕候  
御得意様の御便利を計り出張所を十數ヶ所を相  
互御遠方の御得意様へも遺憾なく御用迅速に相

移轉廣

●新荷着 坂倉支店

●新荷着  
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(船客)  
坂倉支店

新荷着 坂倉支

按舊貯金二〇六萬

堀内商會京城支店

島油明株式會社  
島鐘製造株式會社  
本鋪塗料株式會社  
朝鮮代理店

灰セメント 燐寸 鑪

營業科目

旅 京城南山町三丁目  
**京城ホテル**  
 日本室和食  
 特等 二等 三等  
 三層 二層 一層  
 客八十五 客五十 客三十  
 電話 四四一 電話 四四二 電話 四四三

電話 長一三番  
四九二番  
三 等等  
東京市山町二丁目  
第五十號

齒科診療  
齒科醫 檜崎 東陽  
電話千三百六十番

永車唐箕製造販賣  
京城曙町百七番戸  
土井米吉工場  
電話三三二六

又房具  
洋紙  
之  
牛  
本  
店

京城本町一丁目郵便局前

測量器械

並買次營業申候

電話 六四八番  
振替 朝鮮 一五四番

京城本町二丁目百三十銀行橫

野田齒科専門醫院  
電話一〇四七番

中國諸事改良をなし  
静養所  
最も便利に取扱申候  
仁川  
八景園  
營業主 早瀬福壽  
電話五五二番

資本金五百萬圓

神戶海上火災保險株式會社

出張所 京城明治町一丁目  
(電話一五四九)

上酒 小賣壹升廿三十錢

印賣は特別割引可仕換

正 廣

政案造  
正則元  
電話にて御注文の際は一升以上は府員をして運送致すべく候



第七十七百六第 (日曜) 日正北緯西年四十第 (可動物園) 報

**眼科**  
金井眼科醫院  
院長 金井眼科醫院  
院主 金井眼科醫院  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**津森**  
弦流製菓  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**恩給**  
恩給事務  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**家畜病院**  
家畜病院  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**光秀**  
光秀  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**根ぞの**  
根ぞの  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**茶碗**  
茶碗  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**FUSSELL'S CONDENSED MILK**  
RED BUTTERFLY BRAND  
PREPARED BY FUSSELL & CO. LTD. NORWAY & LONDON.  
着 荷 新  
朝鮮特約大販賣  
洋酒飲料品直輸入商 辻屋  
電話 二四六  
院址 本町六丁目

**和洋金物商**  
和洋金物商  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**先鳳**  
先鳳  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**荒井牧場**  
荒井牧場  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**京東**  
京東  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**義齒術全般**  
義齒術全般  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**旭屋旅館**  
旭屋旅館  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**鐵冷温泉**  
鐵冷温泉  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**世帯道具**  
世帯道具  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**紙帳簿**  
紙帳簿  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**仁川病院**  
仁川病院  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**吉金酒**  
吉金酒  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**中島醫院**  
中島醫院  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**野田紙店**  
野田紙店  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**油**  
油  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**中島醫院**  
中島醫院  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目

**中島醫院**  
中島醫院  
電話 一五五六  
院址 本町六丁目



方權した事のあらうとは知る理由がな  
いから迎ひの人力車に待つて先づ願ひ  
着けた吉田が假の者に向つて竹藪へ  
よ女が來て居る筈だがと願くゝ留の士  
人も女中も其所迄は知らないからイエ  
來て居られませんかと云ふ其様答はな  
いと押し返して居る所へ此れも迎ひの  
人力車で乗り着けた竹藪と門口でバツ  
「持ちましたか、意ひで來たんですけ  
ど、要らね様」と吉田は首を捻つたが

處の者、今度には御宮の新券番  
 から奴と名乗って三度の勤め奥服番  
 の鈴木李兵衛さんと料理屋式藏野の金  
 主岡田安治とを兩手に操つて居たので  
 双方から査察箱が出たけれど、調子から  
 方へ行くことが出来ず困つて居た  
 時、時傳徳の山本徳太郎(當時四十五)  
 と云ふ男に短銃で脅迫せられて調子と  
 落籍されて藝妓屋を開業した

此殺鼠船の大椿事  
 ▽男女二名窒息死す  
 去廿三日仁川港外小月尾島西方約四百

用ひて劇しく振舞ひ、若し普衆の人々は二回とて擦過倫と負ふべきに、然し百回を繰り返し眞狀なき如く、或は都會人士が裸足で山路一二里を行けり直ちに足を傷むに、臺灣の生業如何のき裸足の儘如何なる艱角とを睹みあはると平氣なる前へ、又彼の方士が解部グと云て其の前額を以て劇しく擦過倫臺に打ち付け行くが如く、局部の習慣的發達に方ひれば此種の事は敢て難くではない、現に熊本縣鹿野郡山鹿町の細客大森四郎氏の如く、幼少會の二度會訪たる山鹿大宮の一抱へも枡の宮柱に、見上ぐる様な神殿のムスリと音する程、前額を打ち付けて

中に死期を迫るをなしたと傳ふ所が、  
實に船長と二名のもの潜伏し居たより  
遂に身懸死に至らしめた艱末を報せ  
るに船名は千順盛とて千深氏の所有に  
して船長を榮盛と云ひ去十八日入港  
したる者にて當時三川警察水上係りの  
同船に出張し雜貨荷物及人員を取調べ  
たりに入員は十四名なり去廿三日申立  
て紀伊丸船を以て古森監視主任にて其の  
役職に取替るべく船長に人員を問ひた

●奇特な小僧さん 仁川京町一丁目赤松宮藏方庵人澤野五郎(一)は主家の用務にて廿四日午前九時三十分、郵便銀行仁川支店に來りしに同じく同行に來客したる三十餘歳の兵が同行内へ十圓紙幣を奪ひ其發立去りしより五郎は其紙幣を拾ひ右の兵に渡さんと發覺し追駈行きたしに數百の兵なりしより當人分明せぬ爲め仁川署に持來り届出たり

やと尋ねしに無しとの答へしより、同船は午前十一時より十八分間の瓦斯の漏れを爲したる後二十分間瓦斯を抽出し、爲しを爲すに、船中を空気を送り、茲に全く脱炭素の目的を終りしより船中を改めたる處、年若き婦人が脱炭して倒れ居たるより一同驚き他を極し見るに寢室の一隅には布席の中に男の死骸あり是全く瓦斯

**仙術の理法**

余の親たる片田源七翁の實驗に就て

(五) 福田山水

前置きが意外に長くて讀者を煩はしたが、サナ意々仙術の理法に入るに當り参照の便宜上、臺仙の實驗の順序に因つて記述することとせう。

第一實驗 梵鐘撞き

臺仙の生活の経験に於ては、寺院に在る僧堂學校等の鐘樓に撞かれて、多くは驚愕する。屋外音の反響少なき場所に於て常に「ヨリ」低く聞き慣れたる鐘聲を限られたる一室、然る君の反響に尤も注意せられたる劇場に於て「ヨリ」高く是を聞かしめ、あの鐘をあの程度に撞くらざらんば、餘程の力を要すべしとの

てからよ。

▲審判の助君とやらから飛だれた此りを受けたれど叱られたからとて左邊官より味のあるは悪賢

から陰謀なにかれた氣の毒様に御新丁の開は見角として本日、は新技の披露を可申上候。▲花月より紅葉と名つて打つて出たるは東京生れの植木く(三)れ多敷ならぬ美人の癖に人多く(二)れ少敷ならぬ美人の癖に人多く(一)るく(一)にて東京生れの油田千代(一)は政通と愛媛生れの宇留宮よね(三)君哉と高桑つて(ヘ今晩▲大は井門店より政子の妹分として敬致と名乗

出ても何分とは東京生れの鈴木たけし(三)候。何れも分るとの御意を以て候へ居候。▲次は新町の太鼓に御座候。▲過寒花のめ江戸共出張中なりし井門支

の樓主は江澤形を輸入せし候。▲第一

か東海生れの佐々木かはるまで本年十三才の女堂も温かくて愛嬌がうて遊引強くて斷の皮が厚くつては嘘なるお兄さんをして大事を卒業せたいとの願から姓氏名を傍枝とばれて▲第二番は横濱生れの高田も

れたるも廣く一家の不運から女の美しいのが仇となりて姓氏名を叶枝と時はさ事となりたるなり香、茶、生花、翠三珠綴、木琴、借金、タンタロラン印

んで出来ぬ云ふものなき間に時夫と來たり太したものと云ふことなり▲大は江戸兒の長谷川をは當年つて十九歳美しし所を見て頂戴と由ひの藝名に曰く松枝▲大船頭と密着

ひの初なるにと依りキキ、夏山、利切なるなら何云々来か新聞紙には虫が好かり申し居り候近頃不都合の如に存せられ候。▲同と權の代曰く私の如き者で御最良甲斐にうして居られますと、利巧者に御座

▲昨夕方井門支店の應接室で風琴を云はせた奴が御座候アレは確馬鹿に御座候。御座候。

好夜に迎へられたる浪人山若丸一行廿五日の贈物は徳久會費物語(京山若吉天龍川庄阿の傳書(赤坂義士團(岡重興國政 前若丸の贈物としては伊藤の前年生、川崎工學士にして真に壯快麗なり新贈物也)

本年二十三晝天晴れ来家の令嬢が生

賣 告

歡  
迎

總督府專賣局開城出張所製

糖  
蔘  
(一名人蔘砂糖漬)



△  
合名  
會社  
明治屋  
京城支店

京城本町三丁目

電話二一二

振替貯金口座號碼四四

# 織居商店本店

京 城 本 町 四 丁 目

**營業品目**

各國時計及附屬品  
貴金屬及美術品  
歐米各國自轉車  
寫真機及材料  
ビクタ―蓄音機

京 城 本 町 四 丁 目

**織居商店寫真器部**

平壤南門通二丁目  
電話二百六十二番

**織居商店平壤支店**

平壤大和町一丁目  
電話二十三番

**織居商店出張所**

釜山港南濱町一丁目  
電話百一番

**織居商店出張所**



ブライト 號



スウィートホーム 號



ケンネクト 號



ロイヤルワラン 號

移 轉 廣 告

各位益々御清榮奉  
賀候弊店儀各位の  
御引立に依り日増  
に繁榮に趣候段奉  
深謝候今回業務擴  
張に伴ひ從來の家  
屋にては狹隘を感  
じ候に付 同町  
三越吳服店  
筋向に移轉  
致候間 倍舊の  
御愛顧の程奉希候



九三

